

学校運営計画(4月)			
学校経営方針		建学の精神「自立心を養い、有為な社会人を育てる」をうけ、私学の特色を十分に生かし、国家社会の有為な人材育成のため 1. 自主独立の精神に満ちた、勤勉な生徒の育成に努める 2. 生徒の個性・能力の発見に努め、これを伸ばすと共に進取の精神を養う 3. 人間形成に留意し、敬意の念に立脚した教育を行い、社会生活に必要な礼儀・節度を身につけさせる	
年度重点目標		具体的目標	評価(3月)
学習指導の充実		全学年・全生徒のレベルアップ・中間層及び下位層に対するきめ細かい指導・分かりやすい授業の実践・各種試験の受験後指導の充実 難関大学・医学部への合格者増 学年会・教科会の充実、教師間の情報交換の促進 教科別研修の推進と教科指導の工夫・改善 教材研究の徹底、教材研究をしやすい環境づくり 教育課程編成の研究、授業時間数の確保、50分授業の完全実施 各学年・各分掌における目標設定と目標達成への環境づくり	A B A A A A A
生活指導の充実		挨拶の励行、尚学館創立時への原点回帰 時間厳守・遅刻の撲滅・部活実施時間の効率化 家庭での基本的な生活習慣確立、睡眠時間の確保、携帯電話の所持数減、メール・ゲーム・パソコンの家庭での使用制限 家庭との連携強化、二者・三者面談の充実 心の教育・道徳授業の充実 広報の充実(学級通信、学年通信、尚学館新聞、尚学館だより、かけはし、HPの充実・内容の検討)	B B B A B A
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)
教務(教育全般)	行事	翌月の行事予定を2週間前に出す	A
	学籍	保健委員に欠席・遅刻・早退者の黒板記入を徹底させ、記入漏れのないよう注意する	A
	儀式	スムーズで厳粛な式の運営	A
	時間割	変更・連絡ミスがないようにする	A
	成績処理	速く・正確な処理を行なう	A
	カリキュラム委員会	未履修問題などが起こらないようにする	A
	指導要録	定期的に(定期考査中に)会を開き、その中でチェックしていく	A
	教材	円滑な授業が行なえるようにする	A
	プレテスト・入試	受験生が安心して受験できるようにする	A
	教育実習	研究授業にできるだけの先生方に参加してもらい、充実した反省会ができるように計画する	A
	奨学生	文書作成・発送をできるだけ速く行う	A
	緊急連絡網	緊急時にすばやく対応できるようにする	A
	新聞	電話番号のチェック・連絡網の確認をして、保管する。変更がでたらその都度改訂版を作成する	A
	掲示物	掲示物の張替えを2カ月おきにする(学校案内、プレテスト・入試情報、各表彰など)	B
	保健指導	中・高生の個々の健康状態を把握し、適切で安全な学校生活をおくらせる	A
	校舎管理	公共物を大切にできる姿勢・節電、節水、リサイクル等への取り組みの意識を育成する	B
	安全教育	安全・防災に対する意識の高揚を図る	B
	厚生	和やかな働きやすい職場作りを心がける	A
写真	写真撮影業務を円滑に進める。わかりやすい生徒写真一覧を作成する	A	
同窓会	会長・役員との連絡、調整をする	A	
バス	バス係との連絡・調整をし、生徒への連絡を正確にする	A	
授業の充実	授業2分前着席	専門委員会(学習委員会)が中心となり呼びかける	B
	完全授業の徹底	年休・出張等の連絡は早めにし、授業の振り替えを徹底する	B
	指導力の向上	生徒による授業の評価(アンケート)を行い、自分の授業の改善・工夫を行なう	A
	保護者からの評価		A
学校行事の充実	体験的な活動を行なわせる	B	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)
進路指導	年間計画	年間計画の立案、推進	A
	大学との連携	スムーズな連携を心掛ける。	A
	庶務	探しやすい保管を心掛ける。見て分かりやすい一覧表を作成する。	A
	課外授業	時間割を速やかに作成する。欠席遅刻をなくし、授業であるとの認識を持たせ、真剣に取り組ませる。時間割を速やかに作成する。	A
	放課後指導	同上	A
	朝テスト	遅刻をなくし、朝テストが日々の授業内容の確認であることを認識させる。	A
	出張講義	生徒の視野を広げ、スムーズな運営を心掛ける。	A
	進路相談	生徒本人の志望、適性に合った指導をする。	A
	進路指導に係わる学習指導	生徒の将来的な目標をふまえ、段階的な指導を行う。	A
	進路情報発行	スムーズな運営を心掛ける。	A
	推薦入試関係	卒業生の経験を通して、学習について意欲を持たせる。	A
	対外模擬試験	情報の厳重保管に注意する。	A
	庶務	模試の手配、収集など迅速に行う。成績資料の有効活用。	A
	情報処理	生徒の個人情報を取扱うため、保管に厳重に注意する。	A
	通信衛星講座	受信、録画など間違いのないようにする。	B
	進路関係図書	充実し心掛ける。	A
	庶務	ミスがなく迅速にする。	A
	機材管理	生徒に自由に使用させるため、正しい使い方を指導する。	B
オプション模試	各大学の個別試験の実態を知ること。	A	
生徒指導の総括・指導方針・計画立案	生徒の自立心を養い、明るい学校づくりに努める。	A	
生徒相談	差別やいじめのない明るい学校づくりに努め、担任・保護者と共に連携して指導・援助する。生徒一人ひとりの適切な心のケアを心がける。	B	
下校バス時の校門指導	生徒の安全を確保し、登下校時の挨拶を指導する。	A	
自転車通学生徒の指導	無事故・無違反をめざす。	B	
ステッカーの配布・発注・貼付の指導徹底	ステッカー一貼り付けの徹底。	A	
駐輪場の割り当て計画	決められた場所に自転車を整列させる。	A	
生徒会への指導・助言	生徒会活動が学校の方針に沿って円滑に行なえるようにする。	A	
生徒会主催行事の計画・指導	有意義で安全かつ円滑な行事の運営。	A	
生徒会選挙の指導	生徒会役員にふさわしい生徒の選出。選挙に対する自覚の促し。	A	
専門委員会の計画と指導	各委員会活動の充実を図る。生徒会新聞を定期的に発行する。	B	
ボランティア活動の計画と指導	ボランティア活動への生徒の意欲を高める。	A	
派遣側・賞状の保管	各顧問への派遣側・賞状の保管の要請。	A	
派遣委員会の開催	普段の生活指導を徹底し、派遣委員会で審議されるような問題行動発生防止に努める。	B	
ヘルメットの購入・装着指導	中学生全員の自転車利用時の着用。	A	
式典の司会進行	各部署と連携してスムーズな進行に努める。	A	
式典の会場設置	各係との連携・事前計画の作成。	A	
計画・指導	実施目的に沿って、安全かつ有意義な計画を立案する。	A	